

分野横断的な手法による 人類史研究の最前線

青森県は、縄文遺跡など世界に誇る文化遺産を持っています。その価値を深く理解するために、文化財に関する先進的研究の理解増進活動は必須です。そこで、国内や海外の遺跡の調査で世界的な成果を挙げている研究者を招聘し、最先端の考古学や人類学の研究を紹介します。今回の公開講座の演者は、縄文、弥生、そして南米・アンデス文明の調査において顕著な研究成果を挙げている研究者です。

司会・コーディネーター：長岡 朋人（青森公立大学 経営経済学部 地域みらい学科 教授）

第1回 6/13(土) 申込締切日 **6/10(水)**

【会場】リンクモア平安閣市民ホール 1階 会議室(1)
(青森市柳川1-2-14)

【定員】50名

第1部 13:30～15:40

古代アンデス文明とインカ帝国

【講師】南山大学 教授 渡部 森哉 氏

第2部 15:50～16:40

古代アンデス文明と生物考古学

【講師】青森公立大学 教授 長岡 朋人

第2回 6/20(土) 申込締切日 **6/17(水)**

【会場】「道の駅」浅虫温泉 ゆ～さ浅虫 4階 大会議室
(青森市浅虫螢谷 341-19)

【定員】70名

第1部 13:30～15:00

**骨に残された痕跡から探る縄文墓制
—多数合葬例にみる遺体の取り扱い—**

【講師】東京都立大学 特任助教 皆川 真莉母 氏

第2部 15:10～16:40

近畿地方の弥生時代墓制

【講師】公益財団法人大阪府文化財センター 主査 / 静岡大学 客員教授
大庭 重信 氏

【対象】高校生以上 【受講料】無料

※先着順です。各回、定員に達し次第、締め切ります。

※席に余裕がある場合に限り、当日、会場での申込みも受けします。

【申込方法】裏面をご覧ください。



第1回

6月13日(土)

申込締切日 6月10日(水)

第1部 13:30～15:40

古代アンデス文明とインカ帝国

[講師] 南山大学 教授 渡部 森哉 氏

世界のいくつかの地域で古代文明が誕生しました。その1つが南米大陸の西部に発達した古代アンデス文明です。これは文字が実用化されなかった唯一の古代文明です。また製鉄技術や車輪なども用いられませんでした。それにもかかわらず、南北4,000kmという広大な範囲を支配下に治めたインカ帝国が成立しました。この講演では古代アンデス文明の基本的な特徴を概観し、古代アンデス文明の最後に登場したインカ帝国がどのような国であったのかについて話をします。

第2部 15:50～16:40

古代アンデス文明と生物考古学

[講師] 青森公立大学 教授 長岡 朋人

この講演では古代アンデスの人々の生老病死を復元する手法として生物考古学を紹介し、人骨の研究を通して古代アンデスにおける社会の複雑化や戦争の起源に関する新知見を紹介します。

第2回

6月20日(土)

申込締切日 6月17日(水)

第1部 13:30～15:00

骨に残された痕跡から探る縄文墓制
—多数合葬例にみる遺体の取り扱い—

[講師] 東京都立大学 特任助教 皆川 真莉母 氏

現代の私たちからみると興味深い、多様な吊い方が存在した縄文時代。この講演では、縄文時代後期の多数合葬例に焦点を当て、埋葬環境によって骨に残された痕跡から、当時の埋葬行為の実態に迫ります。

第2部 15:10～16:40

近畿地方の弥生時代墓制

[講師] 公益財団法人大阪府文化財センター 主査 静岡大学 客員教授 大庭 重信 氏

近畿地方の弥生時代の代表的な墓制は、周囲を溝で囲ったり盛土で区画する「方形周溝墓」です。この墓制は当時の社会を反映して時期によって異なる特徴がみられます。この講演では、水稻農耕が開始された弥生時代から大型前方後円墳が登場するまでの間の方形周溝墓の変遷を、大阪の事例を中心に紹介します。

申込方法

申込フォームに必要事項を入力し、お申し込みください。
または、住所(市町村名のみ)・氏名(ふりがな)・電話番号・希望回および部を、各回の申込締切日までにメールまたは電話でお知らせください。

〈申込フォーム〉

〈メール〉 kouza2026@mat.nebuta.ac.jp ※件名に「人類史研究」と入力してください。

〈電話〉 017-764-1589 青森公立大学地域連携センター (平日8:30～17:00)

※お申込みの方に受講の可否をメールまたは電話で連絡します。
※@mat.nebuta.ac.jpからのメールを受信できるように設定してください。
※お申込みいただいた個人情報は、今回の公開講座に関する目的以外での使用並びに第三者への提供は行いません。